

創世会
藤原正光



藤原議員のすべての
一般質問が視聴
できます



指定管理者施設の評価は

Q 本市がこれまでに指定管理者制度へ移行した施設の評価を伺う。

市民サービスの向上と経費の節減等に取り組んでいる

A 本市では43施設に指定管理者制度を導入しており、民間の創意工夫を活かし、市民サービスの向上と経費の節減等に取り組んでいただいています。今後とも、指定管理者制度等の官民連携を進め、民間事業者の創意工夫を活かした施設経営を推進していきます。

今後の公共施設再編に向けて多機能化の考えは

Q 持続可能な公共施設整備の観点から、学校体育施設を社会体育施設として改修などをしていくことが必要と考える。地域による部活動の支援体制の確立、学校職員の学校体育施設の管理業務の負担軽減、一



般利用者による体育施設利用の利便性向上を図るためにも、学校体育施設の指定管理者制度を導入すべきと考えが見解を伺う。

現時点では指定管理者制度導入は考えていない

A 学校施設の管理という側面においては、現時点では指定管理制度の導入は考えていません。一方、現在実施している学校施設開放事業については、教育委員会としても積極的に地域に開放しており、今後進めていく部活動の地域展開も踏まえて、どのようなスキームで事業展開を図ることが効果的であるのかを研究していきます。

新しい風
橋本勝弘

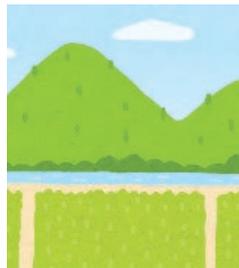


橋本議員のすべての
一般質問が視聴
できます



中山間地域の農用地区域の設定には配慮が必要ではないか

Q 農用地区域の設定方針にあたり、人口減少が著しく、農地の近代化が困難な中山間地域については、地域の実情に十分配慮する必要があると考えるが所見を伺う。



中山間地域の農地は積極的に保全していく

A 「農用地区域」は「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき指定するもので、中山間地域に限らず、過去に「土地改良事業」などの農業投資が行われた農地は、「農用地区域」に指定します。また、中山間地域の農地は、洪水調整など多面的機能を有することからも、積極的に保全していくべきと考えられます。

新東名掛川第2PAへのSIC設置取り組みについて伺う

Q 沿線市として新東名高速道路を活用すべきである。令和の時代にふさわしい新東名掛川第2PAへのSIC※設置を、掛川商工会議所と連携を密に取り組んでいくべきと考えるが見解を伺う。

地元企業の意向を十分に反映していく

A 現在、(仮称)東名高速道路掛川西SICの設置に向け、検討業務を実施しており、掛川商工会議所とも連携を図っていきたく考えています。

将来、新東名掛川第2PAへのSIC設置を検討する際も同様に連携を図り、地元企業の意向を十分に反映していきたいと考えています。

※SIC・・・スマートインターチェンジ